

## 民進党埼玉県第10区総支部長

# 衆議院議員 坂本ゆうのすけ氏に聞く!!



### 消費税増税について、どのようにお考えですか？

消費増税について、社会保障の財源確保のための増税の重要性は理解していますが、現在は増税できる状況にないと考えています。安倍総理は、消費税10%への引き上げについて、平成26年11月18日の衆議院解散を発表する記者会見において、「再び延期することはない。」「確実に私たちは、消費税引き上げの状況をつくり出すことができる」とおっしゃいました。解散を断行してまで国民と約束した公約である経済政策がうまくいかず、消費税を増税できる環境になっていない以上、アベノミクスの失敗したと考えます。

### 日本の再生にはどのような対策が必要ですか？

我が国の経済・社会が長い間、閉塞感から抜け出せないのは、我が国の仕組み・構造の行き詰まりが最も大きな原因であると考えています。現在の我が国の基本的な仕組みは、戦後に構築されました。しかし、経済の成熟化、急激な少子高齢化、グローバル化など、戦後と現在では我々を取り巻く社会環境は大きく変化しました。戦後に構築された仕組みの中で、これらの変化に対応できるのでしょうか？古くなった仕組みや構造を現在の経済・社会環境に合わせて転換していく事こそ、我が国の再生に最も必要と考えます。

### 今国会でも「政治とカネ」の問題で閣僚が辞任しました

「政治とカネ」の問題により、国民の政治家に対する信頼は大きく失われています。

私が代表を務める民進党埼玉県第10区総支部では、企業・団体献金はいただいません。企業・団体献金のすべてが悪いとは言いませんが、企業献金に対する口利きなど国民の信頼を損なう疑惑が発生し、国民に政治に対する不信が広がっている以上、企業・団体献金は禁止すべきと考えます。

### 原子力政策についてお考えをお聞かせください

福島第一原発事故の経験から、私は原発はゼロにすべきと考えています。そして、再生可能エネルギーへの移行、省エネの推進はもっと加速させるべきです。現在の原発は地震や津波だけでなく、火山噴火やテロ、その他、想定外のリスクが発生した時に、絶対に安全を確保出来ると言えるのでしょうか？

私は子どもたちに原発は残すべきではないと考えます。私たち大人の責任として、原発政策をやめる決断と、放射性廃棄物の最終処分方法の決定はしなければならないと考えます。

### 近年、子どもの貧困が大きな社会問題となっています 文部科学委員会の質問でも取り上げてましたが、お考えをお聞かせください

国民の間の経済格差の急激な拡大を大変懸念しています。特に子どもの貧困は深刻で、子どもの6人に1人が貧困という状況であり、30人学級でいえば、1クラスあたり平均5人の子どもが貧困という状況です。そして、さらに貧困が貧困を生む、貧困の連鎖も深刻な問題となっています。家計の状況に関わらず、安心して充実した教育を受けられるようにするためにも、そして、貧困の連鎖を断ち切るためにも、教育費については、国で責任を持つべきと考えます。

教育政策の充実、子どもや子育て世代だけへの対策ではありません。すべての子どもたちがしっかりとした教育を受け、健やかに成長することで、社会全体に大きな恩恵をもたらすこととなります。「米百俵の精神」でも伝えられるように、教育は国家の発展の基盤になります。これからも教育の重要性を引き続き訴えてまいります。

我々、民進党は「未来への責任」を結党の理念に掲げています。子どもたちのために、将来の日本のために、我々政治家は何をすべきか。それは今我が国が抱える問題を先送りすることなく、我々の世代で責任を持って解決することであると考えます。

衆議院文部科学委員会にて質問する坂本代議士 ▶





## 1. 現実的な外交安全保障

○日米同盟を深化させるとともに、アジア太平洋地域との共生を実現し、国際社会の平和と繁栄に貢献する。安全保障については、立憲主義と専守防衛を前提に、現実主義を貫く。

## 2. 立憲主義の確立

○日本国憲法の掲げる『国民主権、基本的人権の尊重、平和主義』の基本精神を具現化するため、地方自治など時代の変化に対応した必要な条文の改正を目指す。

## 3. 新陳代謝のある経済成長

○新規参入を拒む規制の改革によって、起業倍増を目標に新陳代謝を促し、持続的かつ実質的な経済成長を目指す。

## 4. 「居場所と出番」のある共生社会

○生活者、納税者、消費者、働く者の立場に立ち、社会の活力の根源である多様性を認めあう格差の少ない寛容な社会を目指す。政治は社会的弱者のためにあるとの考えを基本とする。

## 5. 2030年代の原発ゼロ

○2030年代原発稼働ゼロを実現するため、省エネを徹底するとともに、小規模分散電源や自然エネルギーへのシフトを推進する。

## 6. 身を切る改革

○既得権益を排し、「官権政治」から「民権政治」へ転換する。  
○国民との約束である議員定数の削減を断行する。

## 7. 地域主権改革

○「権限・財源・人間」の東京一極集中を脱して、地域の創意工夫による自立を可能とする地域主権社会を実現する。

## 坂本ゆうのすけ活動報告



**党員・サポーター募集中!!**  
**お問い合わせは第10区総支部まで!!**

### 坂本ゆうのすけプロフィール

#### <現職>

民進党副代表  
衆議院 文部科学委員会 委員  
衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員  
衆議院 憲法審査会 委員  
日本スポーツ少年団 本部長  
全日本スキー連盟 副会長  
埼玉県体育協会 名誉会長  
東松山市体育協会 会長  
東松山市レクリエーション協会 会長

#### <経歴>

衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員長  
維新の党 両院議員総会長  
日本維新の会 筆頭副幹事長  
東松山市長 (4期16年)

#### <学歴>

県立松山高等学校・日本大学文理学部 卒業

日々の活動はwebへアクセス!

さかもとゆうのすけ ブログ

検索